

1. 本県周辺海域の概況(11月上旬)

- ・今月の海況の概要は図1のとおりです。
- ・冷水域の南端は北緯39度、東経143度付近に位置しており、本県海域には達していません。
- ・三陸の沖合域に暖水塊が形成されています。
- ・10月中旬以降、黒潮流路は犬吠埼に接岸後、本県沖合域を北上して塩屋埼沖に達しました。11/12現在、犬吠埼沖を大きく蛇行した後に北上していると推測されます。現在も流路変動中であると推測されます。

2. 海洋観測結果(11/8~11/12:ときわ)

- ・水温を図2~図5に、水温前月差を図6~図7に、平年偏差を図8に、塩分濃度を図9に示しました。
- ・北部表層の水温は沿岸域で17~20°C台、沖合域で20~24°C台と、沿岸と沖合で大きく異なりました(図10)。
- ・水温を前月と比べると、沿岸表層域を中心に降温しました。それ以外の海域では、最大で8°Cと著しく昇温しました(図11, 12)。水温を平年と比べると、犬吠埼沖を除いて広い範囲で「高め」となりました(図13, 14)。これは、黒潮が本県沖合域を北上した影響を受けたことによるものと考えられます。
- ・塩分濃度は、沿岸表層域は低めですが、前月に比べて高め(34.5PSU以上)の海域が広くみられました(図15)。

3. 今後の1カ月の見通し

- ・11/12現在、黒潮は流路変動中であると推測されます。今後は北上部が東へ移動しながら北緯36度以南へ南下するでしょう。ただし、黒潮から分離した黒潮系暖水はその後も残り、本県沖合域は強い影響を受けるでしょう。沿岸方向への暖水波及はそれほど強いものではないでしょう。
- ・北方からの冷水の波及はみられないでしょう。
- ・水温を平年と比べると、概ね「平年並み~高め」で推移するでしょう。

